

II. 回答者が所属する施設について

1. 施設の種別（施設長と職員が同一施設に所属している可能性があるが、それぞれを併記した。）

身体障害者施設

障害種別	職 種	肢体不自由者更生施設	視覚障害者更生施設	聴覚・言語障害者更生施設	内部障害者更生施設	身体障害者療護施設	身体障害者福祉ホーム	身体障害者授産施設	身体障害者通所授産施設	身体障害者福祉工場	身体障害者福祉センター	視覚障害者情報提供施設	盲人ホーム	その他	合 計
身体障害者施設	施設長	6 6.2%	5 5.2%	0 0.0%	1 1.0%	29 29.9%	0 0.0%	17 17.5%	28 28.9%	0 0.0%	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 10.3%	97 100.0%
	職員	5 5.0%	3 3.0%	0 0.0%	2 2.0%	39 38.6%	1 1.0%	21 20.8%	24 23.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 5.9%	101 100.0%

知的障害者施設

障害種別	職 種	知的障害者更生施設（入所）	知的障害者更生施設（通所）	知的障害者授産施設（入所）	知的障害者授産施設（通所）	知的障害者通所寮	知的障害者福祉ホーム	グループホーム	知的障害者福祉工場	知的障害者 デイサービスセンター	その他	合 計
知的障害者施設	施設長	46 36.5%	12 9.5%	6 4.8%	53 42.1%	2 1.6%	0 0.0%	2 1.6%	0 0.0%	3 2.4%	2 1.6%	126 100.0%
	職員	50 37.0%	17 12.6%	7 5.2%	57 42.2%	2 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.5%	0 0.0%	135 100.0%

精神障害者施設

障害種別	職種	精神障害者生活訓練施設 (援護寮)	精神障害者授産施設	精神障害者小規模 授産施設	精神障害者福祉ホーム	精神障害者福祉工場	精神障害者 地域生活支援センター	グループホーム	精神障害者小規模作業所	その他	合計
精神障害者施設	施設長	20 21.7%	13 14.1%	32 34.8%	2 2.2%	1 1.1%	19 20.7%	2 2.2%	2 2.2%	1 1.1%	92 100.0%
	職員	21 19.4%	15 13.9%	41 38.0%	4 3.7%	1 0.9%	23 21.3%	1 0.9%	2 1.9%	0 0.0%	108 100.0%

身体障害者施設の場合、施設長による回答で最も多かったのは、「身体障害者療護施設」で、29.9%、次に多いのが「身体障害者通所授産施設」で、28.9%であった。職員による回答で最も多かったのは、「身体障害者療護施設」で、38.6%、次に多いのが「身体障害者通所授産施設」で、23.8%であった。

知的障害者施設の場合、施設長による回答で最も多かったのは、「知的障害者授産施設（通所）」で、42.2%、次に多いのが「知的障害者更生施設（入所）」で、37.0%であった。職員による回答で最も多かったのは、「知的障害者授産施設（通所）」で、42.1%、次に多いのが「知的障害者更生施設（入所）」で、36.5%であった。

精神障害者施設の場合、施設長による回答で最も多かったのは、「精神障害者小規模授産施設」で、38.0%、次に多いのが「精神障害者地域生活支援センター」で、21.3%であった。職員による回答で最も多かったのは、「精神障害者小規模授産施設」で、34.8%、次に多いのが「精神障害者生活訓練施設（援護寮）」で、21.7%であった。

2. 回答者が所属する施設の設置主体（施設長と職員が同一施設に所属している可能性があるが、それぞれを併記した。）

障害種別	職種	国立	公立	事業団・ 公社	社会福祉 法人	医療法人	その他の 公営法人	営利法人	その他	合計
身体障害者施設	施設長	0 0.0%	14 14.4%	4 4.1%	79 81.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	97 100.0%
	職員	0 0.0%	10 9.9%	3 3.0%	85 84.2%	3 3.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	101 100.0%
知的障害者施設	施設長	0 0.0%	15 11.9%	3 2.4%	108 85.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	126 100.0%
	職員	0 0.0%	12 8.9%	4 3.0%	119 88.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	135 100.0%
精神障害者施設	施設長	1 1.1%	5 5.4%	0 0.0%	46 50.0%	20 21.7%	4 4.3%	1 1.1%	15 16.3%	92 100.0%
	職員	0 0.0%	5 4.7%	0 0.0%	54 50.9%	25 23.6%	3 2.8%	4 3.8%	15 14.2%	106 100.0%

身体障害者施設の場合、施設長による回答で最も多かったのは、「社会福祉法人」で、81.4%、次に多いのが「公立」で、14.4%であった。職員による回答で最も多かったのは、「社会福祉法人」で、84.2%、次に多いのが「公立」で、9.9%であった。

知的障害者施設の場合、施設長による回答で最も多かったのは、「社会福祉法人」で、85.7%、次に多いのが「公立」で、11.9%であった。職員による回答で最も多かったのは、「社会福祉法人」で、88.1%、次に多いのが「公立」で、8.9%であった。

精神障害者施設の場合、施設長による回答で最も多かったのは、「社会福祉法人」で、50.0%、次に多いのが「医療法人」で、21.7%であった。職員による回答で最も多かったのは、「社会福祉法人」で、50.9%、次に多いのが「医療法人」で、23.6%であった。

3. 施設利用者数・職員数の平均（施設長と職員が同一施設に所属している可能性があるが、それぞれを併記した。）

障害種別	職 種	施設利用者数 平均	度 数	施設職員数 平均	度 数
身体障害	施設長	54.7	97	29.1	97
	職員	53.9	100	29.0	97
知的障害	施設長	53.5	126	24.0	122
	職員	57.6	134	26.2	131
精神障害	施設長	45.3	91	5.1	92
	職員	44.0	104	5.1	106
合 計		51.5	652	19.8	645

身体障害者施設の場合、施設長による回答では、施設利用者数の平均は54.7人であり、施設職員数の平均は、29.1人であった。職員による回答では、施設利用者数平均53.9人、施設職員数平均29.0人であった。

知的障害者施設の場合、施設長による回答では、施設利用者数の平均は53.5人であり、施設職員数の平均は、24.0人であった。職員による回答では、施設利用者数平均57.6人、施設職員数平均26.2人であった。

精神障害者施設の場合、施設長による回答では、施設利用者数の平均は45.3人であり、施設職員数の平均は、5.1人であった。職員による回答では、施設利用者数平均44.0人、施設職員数平均5.1人であった。

4. 所属施設の設営後年数（施設長と職員が同一施設に所属している可能性があるが、それぞれを併記した。）

障害種別	職種	0～4年	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30～34年	35～39年	40～44年	45～49年	50年以上	合計
身体障害者施設	施設長	14 14.4%	10 10.3%	11 11.3%	11 11.3%	24 24.7%	12 12.4%	4 4.1%	4 4.1%	1 1.0%	4 4.1%	2 2.1%	97 100.0%
	職員	15 14.9%	10 9.9%	11 10.9%	13 12.9%	27 26.7%	7 6.9%	6 5.9%	2 2.0%	4 4.0%	3 3.0%	3 3.0%	101 100.0%
知的障害者施設	施設長	35 27.8%	27 21.4%	17 13.5%	17 13.5%	16 12.7%	4 3.2%	3 2.4%	4 3.2%	2 1.6%	0 0.0%	1 0.8%	126 100.0%
	職員	31 23.1%	29 21.6%	19 14.2%	17 12.7%	19 14.2%	6 4.5%	0 0.0%	7 5.2%	4 3.0%	1 0.7%	1 0.7%	134 100.0%
精神障害者施設	施設長	43 46.7%	29 31.5%	8 8.7%	8 8.7%	2 2.2%	0 0.0%	1 1.1%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	92 100.0%
	職員	48 44.4%	30 27.8%	14 13.0%	9 8.3%	5 4.6%	1 0.9%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	108 100.0%

身体障害者施設の場合、施設長による回答で最も多かったのは、「20～24年」で、24.7%、次に多いのが「0～4年」で、14.4%であった。職員による回答で最も多かったのは、「20～24年」で、26.7%、次に多いのが「0～4年」で、14.9%であった。

知的障害者施設の場合、施設長による回答で最も多かったのは、「0～4年」で、27.8%、次に多いのが「5～9年」で、21.4%であった。職員による回答で最も多かったのは、「0～4年」で、23.1%、次に多いのが「5～9年」で、21.6%であった。

精神障害者施設の場合、施設長による回答で最も多かったのは、「0～4年」で、46.7%、次に多いのが「5～9年」で、31.5%であった。職員による回答で最も多かったのは、「0～4年」で、44.4%、次に多いのが「5～9年」で、27.8%であった。

5. 施設の所在府県（施設長と職員が同一施設に所属している可能性があるが、それぞれを併記した。）

障害種別	職種	大阪府	京都府	奈良県	兵庫県	和歌山県	滋賀県	合計
身体障害者施設	施設長	37 38.1%	12 12.4%	5 5.2%	27 27.8%	10 10.3%	6 6.2%	97 100.0%
	職員	35 34.7%	14 13.9%	7 6.9%	29 28.7%	8 7.9%	8 7.9%	101 100.0%
知的障害者施設	施設長	49 38.9%	16 12.7%	10 7.9%	30 23.8%	11 8.7%	10 7.9%	126 100.0%
	職員	55 40.7%	17 12.6%	8 5.9%	37 27.4%	13 9.6%	5 9.6%	135 100.0%
精神障害者施設	施設長	45 48.9%	10 10.9%	7 7.6%	19 20.7%	5 5.4%	6 6.5%	92 100.0%
	職員	53 49.1%	9 8.3%	10 9.3%	23 21.3%	4 3.7%	9 8.3%	108 100.0%

身体障害者施設の場合、施設長による回答で最も多かったのは、「大阪府」で、38.1%、次に多いのが「兵庫県」で、27.8%であった。職員による回答で最も多かったのは、「大阪府」で、34.7%、次に多いのが「兵庫県」で、28.7%であった。

知的障害者施設の場合、施設長による回答で最も多かったのは、「大阪府」で、38.9%、次に多いのが「兵庫県」で、23.8%であった。職員による回答で最も多かったのは、「大阪府」で、40.7%、次に多いのが「兵庫県」で、27.4%であった。

精神障害者施設の場合、施設長による回答で最も多かったのは、「大阪府」で、48.9%、次に多いのが「兵庫県」で、20.7%であった。職員による回答で最も多かったのは、「大阪府」で、49.1%、次に多いのが「兵庫県」で、21.3%であった。

第2節 地域移行を推進していくための条件

I. 施設側の条件

方針・処遇内容

1. 施設(機関)の方針として、地域移行(退所計画)を重視している。

障害種別	職種	回 答					合 計	平均得点
		(5点) あてはまる	(4点) あてはまる どちらかといえば	(3点) どちらかといえば あてはまらない	(2点) あてはまらない どちらかといえば	(1点) あてはまらない		
身体障害	施設長	19 20.2%	26 27.7%	24 25.5%	12 12.8%	13 13.8%	94 100.0%	3.28
	職員	21 21.6%	23 23.7%	24 24.7%	21 21.6%	8 8.2%	97 100.0%	3.29
知的障害者	施設長	30 25.0%	34 28.3%	28 23.3%	20 16.7%	8 6.7%	120 100.0%	3.48
	職員	27 20.6%	34 26.0%	36 27.5%	20 15.3%	14 10.7%	131 100.0%	3.31
精神障害	施設長	38 42.7%	25 28.1%	18 20.2%	7 7.9%	1 1.1%	89 100.0%	4.03
	職員	46 43.0%	28 26.2%	23 21.5%	9 8.4%	1 0.9%	107 100.0%	4.02
合 計		181 28.4%	170 26.6%	153 24.0%	89 13.9%	45 7.1%	638 100.0%	3.57

身体障害者施設の場合、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の合計が施設長 47.9%、職員 45.3%であった。「あてはまらない」「どちらというにあてはまらない」の合計は、施設長 26.6%、職員 29.8%であり、「あてはまる」という傾向の回答割合のほうが高かった。

知的障害者施設の場合、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の合計が施設長 53.3%、職員 46.6%であった。「あてはまらない」「どちらというにあてはまらない」の合計は、施設長 23.4%、職員 26.0%であり、「あてはまる」という傾向の回答割合のほうが高かった。

精神障害者施設の場合、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の合計が施設長 70.8%、職員 69.2%であった。「あてはまらない」「どちらというにあてはまらない」の合計は、施設長 9.0%、職員 9.3%であり、「あてはまる」という傾向の回答割合のほうが高かった。

2. 施設(機関)全体が地域移行(退所計画)に積極的である。

障害種別	職種	回 答					合計	平均得点
		あてはまる (5)	どちらかという とあてはまる (4)	どちらかという とあてはまらない (3)	どちらかという とあてはまらない (2)	あてはまらない (1)		
身体障害	施設長	16 17.0%	21 22.3%	31 33.0%	9 9.6%	17 18.1%	94 100.0%	3.11
	職員	17 17.5%	22 22.7%	28 28.9%	23 23.7%	7 7.2%	97 100.0%	3.20
知的障害者	施設長	23 19.2%	33 27.5%	36 30.0%	17 14.2%	11 9.2%	120 100.0%	3.33
	職員	22 16.8%	33 25.2%	33 25.2%	26 19.8%	17 13.0%	131 100.0%	3.13
精神障害	施設長	35 39.8%	26 29.5%	19 21.6%	6 6.8%	2 2.3%	88 100.0%	3.98
	職員	34 32.4%	36 34.3%	27 25.7%	6 5.7%	2 1.9%	105 100.0%	3.90
合 計		147 23.1%	171 26.9%	174 27.4%	87 13.7%	56 8.8%	635 100.0%	3.44

身体障害者施設の場合、「あてはまる」「どちらかという」とあてはまるの合計が施設長 39.3%、職員 40.2%であった。「あてはまらない」「どちらかという」とあてはまらないの合計は、施設長 27.7%、職員 30.9%であり、「あてはまる」という傾向の回答割合のほうが高かった。

知的障害者施設の場合、「あてはまる」「どちらかという」とあてはまるの合計が施設長 46.7%、職員 42.0%であった。「あてはまらない」「どちらかという」とあてはまらないの合計は、施設長 23.4%、職員 32.8%であり、「あてはまる」という傾向の回答割合のほうが高かった。

精神障害者施設の場合、「あてはまる」「どちらかという」とあてはまるの合計が施設長 69.3%、職員 66.7%であった。「あてはまらない」「どちらかという」とあてはまらないの合計は、施設長 9.1%、職員 7.6%であり、「あてはまる」という傾向の回答割合のほうが高かった。

3. 施設(機関)全体が地域移行(退所計画)に向けた自立生活訓練に積極的である。

障害種別	職種	回 答					合計	平均得点
		(1)あてはまる	(2)どちらかというにあてはまる	(3)どちらかというにあてはまらない	(4)あてはまらない	(5)不明		
身体障害	施設長	17 18.3%	21 22.6%	26 28.0%	14 15.1%	15 16.1%	93 100.0%	3.12
	職員	14 14.4%	16 16.5%	35 36.1%	23 23.7%	9 9.3%	97 100.0%	3.03
知的障害者	施設長	23 19.5%	37 31.4%	37 31.4%	14 11.9%	7 5.9%	118 100.0%	3.47
	職員	19 14.5%	43 32.8%	28 21.4%	26 19.8%	15 11.5%	131 100.0%	3.19
精神障害	施設長	36 41.9%	26 30.2%	17 19.8%	6 7.0%	1 1.2%	86 100.0%	4.05
	職員	34 32.1%	43 40.6%	22 20.8%	7 6.6%	0 0.0%	106 100.0%	3.98
合計		143 22.7%	186 29.5%	165 26.1%	90 14.3%	47 7.4%	631 100.0%	3.47

身体障害者施設の場合、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の合計が施設長 40.9%、職員 30.9%であった。「あてはまらない」「どちらというにあてはまらない」の合計は、施設長 31.2%、職員 33.0%であり、**回答傾向に相違が見られた。**

知的障害者施設の場合、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の合計が施設長 50.9%、職員 48.3%であった。「あてはまらない」「どちらというにあてはまらない」の合計は、施設長 17.8%、職員 31.3%であり、「あてはまる」という傾向の回答割合のほうが高かった。

精神障害者施設の場合、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の合計が施設長 72.1%、職員 72.7%であった。「あてはまらない」「どちらというにあてはまらない」の合計は、施設長 8.2%、職員 6.6%であり、「あてはまる」という傾向の回答割合のほうが高かった。

4. 施設(機関)においては、施設(機関)職員に対して、地域移行(退所計画)に向けた勉強会や研修を行っている。

障害種別	職種	回 答					合計	平均得点
		あてはまる (5点)	どちらかという とあてはまる (4点)	どちらかという とあてはまらない (3点)	あてはまらない (2点)	あてはまらない (1点)		
身体障害	施設長	21 22.3%	18 19.1%	27 28.7%	16 17.0%	12 12.8%	94 100.0%	3.21
	職員	9 9.3%	23 23.7%	31 32.0%	15 15.5%	19 19.6%	97 100.0%	2.88
知的障害者	施設長	13 10.8%	48 40.0%	30 25.0%	19 15.8%	10 8.3%	120 100.0%	3.29
	職員	14 10.8%	39 30.0%	32 24.6%	26 20.0%	19 14.6%	130 100.0%	3.02
精神障害	施設長	21 23.9%	28 31.8%	27 30.7%	5 5.7%	7 8.0%	88 100.0%	3.58
	職員	26 24.5%	31 29.2%	27 25.5%	12 11.3%	10 9.4%	106 100.0%	3.48
合 計		104 16.4%	187 29.4%	174 27.4%	93 14.6%	77 12.1%	635 100.0%	3.24

身体障害者施設の場合、「あてはまる」「どちらかというとあてはまる」の合計が施設長 41.4%、職員 33.0%であった。「あてはまらない」「どちらというとあてはまらない」の合計は、施設長 29.8%、職員 35.1%であり、回答傾向に相違が見られた。

知的障害者施設の場合、「あてはまる」「どちらかというとあてはまる」の合計が施設長 50.8%、職員 40.8%であった。「あてはまらない」「どちらというとあてはまらない」の合計は、施設長 24.1%、職員 34.6%であり、「あてはまる」という傾向の回答割合のほうが高かった。

精神障害者施設の場合、「あてはまる」「どちらかというとあてはまる」の合計が施設長 55.7%、職員 53.7%であった。「あてはまらない」「どちらというとあてはまらない」の合計は、施設長 13.7%、職員 20.7%であり、「あてはまる」という傾向の回答割合のほうが高かった。

5. 職員間で、利用者の地域移行(退所計画)に関する話し合いの場が定期的にもたれている。

障害種別	職種	回 答					合 計	平均得点
		(5点) あてはまる	(4点) あてはまる どちらかといえば	(3点) どちらかといえば あてはまらない	(2点) あてはまらない どちらかといえば	(1点) あてはまらない		
身体障害	施設長	15 16.0%	18 19.1%	24 25.5%	24 25.5%	13 13.8%	94 100.0%	2.98
	職員	19 19.6%	19 19.6%	26 26.8%	13 13.4%	20 20.6%	97 100.0%	3.04
知的障害者	施設長	15 12.6%	48 40.3%	28 23.5%	16 13.4%	12 10.1%	119 100.0%	3.32
	職員	12 9.2%	37 28.2%	31 23.7%	28 21.4%	23 17.6%	131 100.0%	2.90
精神障害	施設長	29 33.7%	26 30.2%	19 22.1%	9 10.5%	3 3.5%	86 100.0%	3.80
	職員	35 33.3%	33 31.4%	23 21.9%	8 7.6%	6 5.7%	105 100.0%	3.79
合 計		125 19.8%	181 28.6%	151 23.9%	98 15.5%	77 12.2%	632 100.0%	3.31

身体障害者施設の場合、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の合計が施設長 35.1%、職員 39.2%であった。「あてはまらない」「どちらかというにあてはまらない」の合計は、施設長 39.3%、職員 34.0%であり、回答傾向に相違が見られた。

知的障害者施設の場合、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の合計が施設長 52.9%、職員 37.4%であった。「あてはまらない」「どちらかというにあてはまらない」の合計は、施設長 23.5%、職員 39.0%であり、回答傾向に相違が見られた。

精神障害者施設の場合、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の合計が施設長 63.9%、職員 64.7%であった。「あてはまらない」「どちらかというにあてはまらない」の合計は、施設長 14.0%、職員 13.3%であり、「あてはまる」という傾向の回答割合のほうが高かった。

職員

1. 地域移行(退所計画)をするための職員の人数が充分である。

障害種別	職種	回 答					合 計	平均得点
		(新)あてはまる	(4)あてはまる	(3)あてはまる	(2)あてはまる	(1)あてはまる		
身体障害	施設長	6 6.4%	15 16.0%	14 14.9%	34 36.2%	25 26.6%	94 100.0%	2.39
	職員	8 8.2%	11 11.3%	24 24.7%	30 30.9%	24 24.7%	97 100.0%	2.47
知的障害者	施設長	8 6.7%	12 10.0%	30 25.0%	40 33.3%	30 25.0%	120 100.0%	2.40
	職員	13 9.8%	7 5.3%	28 21.2%	44 33.3%	40 30.3%	132 100.0%	2.31
精神障害	施設長	7 8.0%	13 14.8%	20 22.7%	19 21.6%	29 33.0%	88 100.0%	2.43
	職員	13 12.1%	16 15.0%	30 28.0%	25 23.4%	23 21.5%	107 100.0%	2.73
合 計		55 8.6%	74 11.6%	146 22.9%	192 30.1%	171 26.8%	638 100.0%	2.46

身体障害者施設の場合、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の合計が施設長 22.4%、職員 19.5%であった。「あてはまらない」「どちらというにあてはまらない」の合計は、施設長 62.8%、職員 55.6%であり、「あてはまらない」という傾向の回答割合のほうが高かった。

知的障害者施設の場合、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の合計が施設長 16.7%、職員 15.1%であった。「あてはまらない」「どちらというにあてはまらない」の合計は、施設長 58.3%、職員 63.6%であり、「あてはまらない」という傾向の回答割合のほうが高かった。

精神障害者施設の場合、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の合計が施設長 22.8%、職員 27.1%であった。「あてはまらない」「どちらというにあてはまらない」の合計は、施設長 54.6%、職員 44.9%であり、「あてはまらない」という傾向の回答割合のほうが高かった。

2. 地域移行(退所計画)をするための職員の資質は充分である。

障害種別	職種	回 答					合 計	平均得点
		あてはまる (5点)	あてはまる どちらかといえば (4点)	どちらかといえば あてはまる (3点)	どちらかといえば あてはまらない (2点)	あてはまらない (1点)		
身体障害	施設長	9 9.6%	21 22.3%	31 33.0%	18 19.1%	15 16.0%	94 100.0%	2.90
	職員	8 8.2%	22 22.7%	37 38.1%	16 16.5%	14 14.4%	97 100.0%	2.94
知的障害者	施設長	10 8.3%	26 21.7%	50 41.7%	23 19.2%	11 9.2%	120 100.0%	3.01
	職員	8 6.2%	17 13.1%	55 42.3%	31 23.8%	19 14.6%	130 100.0%	2.72
精神障害	施設長	14 15.9%	24 27.3%	34 38.6%	13 14.8%	3 3.4%	88 100.0%	3.38
	職員	7 6.5%	30 28.0%	45 42.1%	18 16.8%	7 6.5%	107 100.0%	3.11
合 計		56 8.8%	140 22.0%	252 39.6%	19 18.7%	69 10.8%	636 100.0%	3.01

身体障害者施設の場合、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の合計が施設長 31.9%、職員 30.9%であった。「あてはまらない」「どちらというにあてはまらない」の合計は、施設長 35.1%、職員 30.9%であり、**回答傾向に相違が見られた。**

知的障害者施設の場合、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の合計が施設長 30.0%、職員 19.3%であった。「あてはまらない」「どちらというにあてはまらない」の合計は、施設長 28.4%、職員 38.4%であり、**回答傾向に相違が見られた。**

精神障害者施設の場合、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の合計が施設長 43.2%、職員 34.5%であった。「あてはまらない」「どちらというにあてはまらない」の合計は、施設長 18.2%、職員 23.3%であり、「あてはまる」という傾向の回答割合のほうが高かった。

3. 職員間で地域移行(退所計画)に関する意識が一致している。

障害種別	職種	回 答					合 計	平均値
		あてはまる (10%)	あてはまらない (4)	どちらかという とあてはまる (30%)	どちらかという とあてはまらない (20%)	あてはまる (1)		
身体障害	施設長	18 19.1%	22 23.4%	24 25.5%	19 20.2%	11 11.7%	94 100.0%	3.18
	職員	10 10.2%	21 21.4%	34 34.7%	19 19.4%	14 14.3%	98 100.0%	2.94
知的障害者	施設長	11 9.3%	39 33.1%	41 34.7%	17 14.4%	10 8.5%	118 100.0%	3.20
	職員	10 7.6%	21 16.0%	57 43.5%	25 19.1%	18 13.7%	131 100.0%	2.85
精神障害	施設長	24 27.3%	35 39.8%	25 28.4%	3 3.4%	1 1.1%	88 100.0%	3.89
	職員	29 27.1%	38 35.5%	31 29.0%	7 6.5%	2 1.9%	107 100.0%	3.79
合 計		102 16.0%	176 27.7%	212 33.3%	90 14.2%	56 8.8%	636 100.0%	3.31

身体障害者施設の場合、「あてはまる」「どちらかというとあてはまる」の合計が施設長 42.5%、職員 31.6%であった。「あてはまらない」「どちらというとあてはまらない」の合計は、施設長 31.9%、職員 33.7%であり、**回答傾向に相違が見られた。**

知的障害者施設の場合、「あてはまる」「どちらかというとあてはまる」の合計が施設長 42.4%、職員 23.6%であった。「あてはまらない」「どちらというとあてはまらない」の合計は、施設長 22.9%、職員 32.8%であり、**回答傾向に相違が見られた。**

精神障害者施設の場合、「あてはまる」「どちらかというとあてはまる」の合計が施設長 67.1%、職員 62.6%であった。「あてはまらない」「どちらというとあてはまらない」の合計は、施設長 4.5%、職員 8.4%であり、「あてはまる」という傾向の回答割合のほうが高かった。

4. 地域移行(退所計画)に対して職員同士の協力体制が充分である。

障害種別	職種	回 答					合 計	平均得点
		(3点) あてはまる	(4点) あてはまる どちらかという とあてはまる	(3点) どちらかという とあてはまる	(2点) あてはまる どちらかという とあてはまる	(1点) あてはまる どちらかという とあてはまる		
身体障害	施設長	16 17.0%	20 21.3%	26 27.7%	19 20.2%	13 13.8%	94 100.0%	3.07
	職員	10 10.3%	18 18.6%	37 38.1%	17 17.5%	15 15.5%	97 100.0%	2.91
知的障害者	施設長	13 10.9%	30 25.2%	43 36.1%	21 17.6%	12 10.1%	119 100.0%	3.09
	職員	11 8.3%	20 15.2%	53 40.2%	29 22.0%	19 14.4%	132 100.0%	2.81
精神障害	施設長	25 28.4%	32 36.4%	25 28.4%	4 4.5%	2 2.3%	88 100.0%	3.84
	職員	27 25.7%	39 37.1%	28 26.7%	9 8.6%	2 1.9%	105 100.0%	3.76
合 計		102 16.1%	159 25.0%	212 33.4%	99 15.6%	63 9.9%	635 100.0%	3.25

身体障害者施設の場合、「あてはまる」「どちらかというとあてはまる」の合計が施設長 38.3%、職員 28.9%であった。「あてはまらない」「どちらというとあてはまらない」の合計は、施設長 34.1%、職員 33.0%であり、回答傾向に相違が見られた。

知的障害者施設の場合、「あてはまる」「どちらかというとあてはまる」の合計が施設長 36.1%、職員 23.5%であった。「あてはまらない」「どちらというとあてはまらない」の合計は、施設長 27.7%、職員 36.4%であり、回答傾向に相違が見られた。

精神障害者施設の場合、「あてはまる」「どちらかというとあてはまる」の合計が施設長 64.8%、職員 62.8%であった。「あてはまらない」「どちらというとあてはまらない」の合計は、施設長 6.8%、職員 10.5%であり、「あてはまる」という傾向の回答割合のほうが高かった。

施設長・施設運営者について

1a. 職員のみ質問 施設長(運営責任者)は、地域移行(退所計画)に積極的である。

障害種別	職種	回 答					合計	平均値
		あてはまる (1点)	どちらかという とあてはまる (2点)	どちらかという とあてはまらない (3点)	どちらかという とあてはまらない (4点)	あてはまらない (5点)		
身体障害	職員	25 26.3%	20 21.1%	32 33.7%	10 10.5%	8 8.4%	95 100.0%	3.46
知的障害	職員	33 25.4%	31 23.8%	43 33.1%	13 10.0%	10 7.7%	130 100.0%	3.49
精神障害	職員	38 36.9%	37 35.9%	23 22.3%	4 3.9%	1 1.0%	103 100.0%	4.04
合 計		189 30.0%	179 28.5%	175 27.8%	47 7.4%	39 6.2%	629 100.0%	3.70

身体障害者施設の職員の場合、「あてはまる」「どちらかという」とあてはまる」の合計が47.4%であった。「あてはまらない」「どちらという」とあてはまらない」の合計は、18.9%であり、「あてはまる」という傾向の回答割合のほうが高かった。

知的障害者施設の職員の場合、「あてはまる」「どちらかという」とあてはまる」の合計が49.2%であった。「あてはまらない」「どちらという」とあてはまらない」の合計は、17.7%であり、「あてはまる」という傾向の回答割合のほうが高かった。

精神障害者施設の職員の場合、「あてはまる」「どちらかという」とあてはまる」の合計が72.8%であった。「あてはまらない」「どちらという」とあてはまらない」の合計は、4.9%であり、「あてはまる」という傾向の回答割合のほうが高かった。

2a. **職員**のみに質問 施設長(運営責任者)は地域移行(退所計画)を行うための施設(機関)運営能力がある。

障害種別	職種	回 答					合 計	平均得点
		(1)点 あてはまる	(2)点 あてはまる どちらかという とあてはまる	(3)点 どちらかという とあてはまる ない	(4)点 あてはまる ない	(5)点 あてはまる ない		
身体障害	職員	26 27.4%	21 22.1%	33 34.7%	9 9.5%	6 6.3%	95 100.0%	3.55
知的障害	職員	25 19.4%	36 27.9%	49 38.0%	12 9.3%	7 5.4%	129 100.0%	3.47
精神障害	職員	40 38.5%	30 28.8%	26 25.0%	6 5.8%	2 1.9%	104 100.0%	3.96
合 計		130 20.7%	161 25.6%	241 38.4%	61 9.7%	35 5.6%	628 100.0%	3.46

身体障害者施設の職員の場合、「あてはまる」「どちらかというたとあてはまる」の合計が49.5%であった。「あてはまらない」「どちらというたとあてはまらない」の合計は、15.8%であり、「あてはまる」という傾向の回答割合のほうが高かった。

知的障害者施設の職員の場合、「あてはまる」「どちらかというたとあてはまる」の合計が47.3%であった。「あてはまらない」「どちらというたとあてはまらない」の合計は、14.7%であり、「あてはまる」という傾向の回答割合のほうが高かった。

精神障害者施設の職員の場合、「あてはまる」「どちらかというたとあてはまる」の合計が67.3%であった。「あてはまらない」「どちらというたとあてはまらない」の合計は、7.7%であり、「あてはまる」という傾向の回答割合のほうが高かった。

1b. **施設長のみ**に質問 あなたは地域移行(退所計画)に積極的である。

障害種別	職種	回 答					合計	平均得点
		(1) ありはまる	(4) ありはまる どちらかという とありはまる	(3) どちらかという とありはまる	(2) ありはまる どちらかという とありはまる	(1) ありはまる		
身体障害	施設長	25 26.6%	23 24.5%	25 26.6%	7 7.4%	14 14.9%	94 100.0%	3.40
知的障害	施設長	31 25.6%	45 37.2%	30 24.8%	9 7.4%	6 5.0%	121 100.0%	3.71
精神障害	施設長	37 43.0%	23 26.7%	22 25.6%	4 4.7%	0 0.0%	86 100.0%	4.08
合 計		93 30.9%	91 30.2%	77 25.6%	20 6.6%	20 6.6%	301 100.0%	3.73

身体障害者施設の施設長の場合、「**あてはまる**」「**どちらかという**と**あてはまる**」の合計が51.1%であった。「**あてはまらない**」「**どちらという**と**あてはまらない**」の合計は、22.3%であり、「**あてはまる**」という傾向の回答割合のほうが高かった。

知的障害者施設の施設長の場合、「**あてはまる**」「**どちらかという**と**あてはまる**」の合計が62.8%であった。「**あてはまらない**」「**どちらという**と**あてはまらない**」の合計は、12.4%であり、「**あてはまる**」という傾向の回答割合のほうが高かった。

精神障害者施設の施設長の場合、「**あてはまる**」「**どちらかという**と**あてはまる**」の合計が69.7%であった。「**あてはまらない**」「**どちらという**と**あてはまらない**」の合計は、4.7%であり、「**あてはまる**」という傾向の回答割合のほうが高かった。

2b. **施設長のみ**に質問 あなたは地域移行(退所計画)を行うための施設(機関)運営能力がある。

障害種別	職種	回 答					合計	平均得点
		(1) あり あてはまる	(2) あり あてはまる どちらかという とあてはまる	(3) あり あてはまる どちらかという とあてはまる どちらかという とあてはまる	(4) あり あてはまる どちらかという とあてはまる どちらかという とあてはまる	(5) あり あてはまる どちらかという とあてはまる どちらかという とあてはまる		
身体障害	施設長	12 12.8%	19 20.2%	36 38.3%	16 17.0%	11 11.7%	94 100.0%	3.05
知的障害	施設長	16 13.2%	29 24.0%	58 47.9%	11 9.1%	7 5.8%	121 100.0%	3.30
精神障害	施設長	11 12.9%	26 30.6%	39 45.9%	7 8.2%	2 2.4%	85 100.0%	3.44
合 計		39 13.0%	74 24.7%	133 44.3%	34 11.3%	20 6.7%	300 100.0%	3.26

身体障害者施設の施設長の場合、「あてはまる」「どちらかというたとあてはまる」の合計が33.0%であった。「あてはまらない」「どちらというたとあてはまらない」の合計は、28.7%であり、「あてはまる」という傾向の回答割合のほうがやや高かった。

知的障害者施設の施設長の場合、「あてはまる」「どちらかというたとあてはまる」の合計が37.2%であった。「あてはまらない」「どちらというたとあてはまらない」の合計は、14.9%であり、「あてはまる」という傾向の回答割合のほうが高かった。

精神障害者施設の施設長の場合、「あてはまる」「どちらかというたとあてはまる」の合計が43.5%であった。「あてはまらない」「どちらというたとあてはまらない」の合計は、10.6%であり、「あてはまる」という傾向の回答割合のほうが高かった。

3b. **施設長のみに質問** あなたは地域移行(退所計画)を職員全体が理解できるように促している。

障害種別	職種	回 答					合 計	平均得点
		(1)あてはまる	(2)あてはまる どちらかという とあてはまる	(3)あてはまる どちらかという とあてはまらない	(4)あてはまる どちらかという とあてはまらない	(5)あてはまらない		
身体障害	施設長	11 11.7%	37 39.4%	20 21.3%	14 14.9%	12 12.8%	94 100.0%	3.22
知的障害	施設長	15 12.5%	53 44.2%	30 25.0%	17 14.2%	5 4.2%	120 100.0%	3.47
精神障害	施設長	23 26.7%	30 34.9%	29 33.7%	3 3.5%	1 1.2%	86 100.0%	3.83
合 計		49 16.3%	120 40.0%	79 26.3%	34 11.3%	18 6.0%	300 100.0%	3.51

身体障害者施設の施設長の場合、「あてはまる」「どちらかというとあてはまる」の合計が51.1%であった。「あてはまらない」「どちらというとあてはまらない」の合計は、27.7%であり、「あてはまる」という傾向の回答割合のほうが高かった。

知的障害者施設の施設長の場合、「あてはまる」「どちらかというとあてはまる」の合計が56.7%であった。「あてはまらない」「どちらというとあてはまらない」の合計は、18.4%であり、「あてはまる」という傾向の回答割合のほうが高かった。

精神障害者施設の施設長の場合、「あてはまる」「どちらかというとあてはまる」の合計が61.6%であった。「あてはまらない」「どちらというとあてはまらない」の合計は、4.7%であり、「あてはまる」という傾向の回答割合のほうが高かった。